



学校だより

横浜市立六つ川台小学校

平成26年4月30日

5月号

ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mutsukawadai/>

異学年との交流

学校長 柳澤 潤

正門の楠木が、新緑の葉を風に揺らしています。つやつやの新しい葉に包まれ、木全体が若々しい色に染まって見えます。

学校では、1年生が元気に新年度のスタートを切ることができました。初めての先生、初めての教室、初めての友達……。何もかも初めてなのに不安な顔を見せず、とてもうれしそうに過ごしています。初めての給食もおいしそうに、よく食べています。あいさつも大きな声でしっかりできます。1年生が元気なので、学校全体も活気があります。

六つ川台小では、異学年交流を進めています。この時期6年生は、とりわけ1年生の面倒をよく見えています。給食の後片付けや掃除のお手伝いなど、順番を決めて1年生の教室に行っています。給食の片付けは、牛乳パックをリサイクルするために手間がかかります。飲み終わった牛乳パックの箱の形を、きれいに1枚の紙に広げるのですが、指先を使って固く閉じた箱をきれいに切り広げていくのは、大人でもちょっとしたコツがいります。お手伝いの様子を見に行くと、6年生は、はじめ1年生に見えるように自分で「やって見せて」、次に、「やらせてみせて」少しずつ手助けしないようにしているのです。数日たつと、じっと見守っている6年生の前で、一人できれいに牛乳パックを開くようになりました。「うまい」と褒められた1年生は、にっこり笑顔になりました。この小さな出来事には、お兄さんお姉さんの優しい心遣いがあふれていて、感心させられました。山本五十六が遺した有名な言葉「やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ」を思い起こしました。

面倒を見ている6年生も、時にわがままを言って手を出してくる1年生に、かわいくてしょうがないという表情でかかわっています。穏やかで、たのもしい最高学年の「顔」になってきました。

2年生は、1年生を学校探検に案内するために学校のあちらこちらを改めて探検し、何をみせて、どんなふうにガイドしようか考えていました。

3年生と5年生は、リコーダーの学習を一緒にしました。3年生の初めてのリコーダー学習を5年生がサポートしました。親切に丁寧に、指遣いや息の入れ方のコツを教えました。最後には、「リコーダーをたくさん練習して音楽集会で立派に発表して」と励ます子どももいました。

4年生、5年生は、宿泊体験学習に向けて話し合いが始まります。

また、1年生から6年生までの全学年で班を作って活動する縦割り活動もスタートしました。

教育の営みは、意図的計画的でなければなりません。学習や生活・遊びをとおして、異学年とふれ合うことの価値を見極め、よりよい時に、よりよい場所で、より効果的な交流ができるよう計画を進めていきます。

5月24日(土)は、第39回運動会「台小サンサンスポーツ祭」です。低、中、高学年のブロックごとに、団体の演技を位置づけています。他学年とのかかわりの中で育つお子様の様子もご覧いただき、精一杯の声援をお願いします。

保護者、地域の皆様、今月もご支援、ご協力をよろしく申し上げます。